

「吉川 FS ブナの森から農業と農村を考える」

担当教員名 田中 勉

コース概要

日程	2018 年 8 月 19 日～22 日
場所	新潟県上越市吉川区
参加人数	16 名

コースのねらい

吉川区のシンボル尾神岳に広がるブナの森から水田地帯にかけての吉川の美しい自然にふれ、河川や溜池からの水の利用、棚田の多面的機能など農業と自然のかかわりを実感し、集落営農・新規就農の事例を通して、農業の新たな展開についても学びます。

内容

上越市吉川区は稲作を中心とする農業地域です。ここでは、尾神岳（750m）から日本海にかけて、山間地に点在する棚田・平地の大規模区画に整備された水田農業の姿を見ることができます。日本の農業の縮図と言える地域です。

この FS の魅力は何と言っても「発見」にあります。プログラムの特徴は、自然と農業の関係を具体的に考えるために、ブナ天然林に覆われた山地から川の流れをたどりながら、取水堰・溜池・用水路・田んぼへと用水を確保・利用する工夫を見学し、その歴史と仕組みについて説明を受けます。

そして過疎・高齢化と後継者不足という厳しい現実の中で行われている新たな展開を学びます。いずれも関係者から直接話を聴く、実地に見学するという五感を使つての学習です。

毎日が「発見」の連続です。満天の星、ブナの葉のそよぎ、稲穂の波、自然の美しさと豊かさを実感します。一方で、思い通りにならない天候、日照りや長雨、猪や鹿の獣害、自然の厳しさ知ることにもなります。

「発見」に満ち、人の優しさ暖かさをしみじみ感じる吉川 FS は、学生生活を豊かにしてくれます。同地での FS は 2000 年以來 17 回実施され、参加者は延べ 300 名を超えています。



尾神岳より農地と日本海を見下ろして記念撮影

学習を終えて

「本当に来ることができてよかった。農業の現状は決して良いとは言えない中で、農家の方が試行錯誤しながら、まわりの人と協力しながら、前向きに農業をされていることを話される姿が心に刻まれました」（3 年女子）

「どうすれば村がより活気ある場になるか、山間地で農業をすることがどれほど大切か、社会はどうなっていくべきで自分には何ができるか、考えをめぐらせている方々がいらっしやることに驚き、またその考えの深さに感動した」（1 年男子）

「若い人が、この地域に関心を持ってくれてありがたいし、私たちには励みになる。今後も何らかの形で交流を続けられればと思う」（川谷もよりの会会長）



元上越市農林水産部長から講義を受ける



おいしい食事に笑顔も



用水路の見学



集落営農について学ぶ



山間地集落で農家の方に話を聞く



日本海を見に、ちょっとしたお楽しみ



新規就農したご夫婦に話を聞く、赤ちゃん大人気



巨大コンバインにびっくり



棚田で農にかける思いをうかがった



満天の星のもと花火も楽しんだ